

令和6年度食育に関する意識調査の結果について

群馬県では、食育推進施策の基礎資料とするため、県民意識調査を実施しています。この度、令和6年度の調査結果の概要を取りまとめましたのでお知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨・目的

県民の食育に関する意識について把握し、食育推進施策の基礎資料や「群馬県食育推進計画」の評価・策定、今後の政策立案等に活用します。

(2) 対象者

群馬県在住の18歳以上の男女

(3) 標本数

1,500人

(内訳) 各年代250人(18～20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上)

(4) 調査方法

インターネット調査

(5) 調査期間

令和6年11月20日(水)～12月6日(金)

2 調査結果

○主な調査結果

- ・朝食を「ほとんど食べない」若い世代は約2割で、前回調査*から増加した。
- ・朝食または夕食の「共食の回数」は約8回/週で、前回調査*から減少した。
- ・郷土料理や伝統料理などを「よく知っている」20代の県民は約1割で、前回調査*から増加した。
- ・災害時の食料を「用意している」県民は約4割で、前回調査*から増加した。

*前回調査：平成30年度食品の安全等に関する県民意識調査(食育に関する調査結果)

※「令和6年度食育に関する意識調査 - 主な調査結果 -」は別添のとおりです。

詳細は群馬県ホームページを御覧ください。

URL：<https://www.pref.gunma.jp/page/695636.html>



群馬県食育推進計画はこちら
(ぐんま食育ポータルサイト)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

